



活力ある生徒の育成を目指して

— 全国学力・学習状況調査結果からみる今後の取組の方向性 —

平成 30 年 9 月 5 日

足立区立第九中学校

過去の調査結果から

学力と心の豊かさや体力、生活習慣や学習習慣は関係が深いことが分かっています。

学校の規則を守っていますか

小学校第 6 学年

	国語A	国語B	算数A	算数B
1	77.3	62.4	82.2	64.5
2	74.8	58.4	80.0	61.9
3	66.5	48.1	72.9	51.6
4	62.1	38.5	71.6	43.7

中学校第 3 学年

	国語A	国語B	数学A	数学B
1	81.8	54.6	71.0	65.7
2	78.4	49.0	65.5	59.5
3	69.9	40.6	55.3	46.6
4	62.3	29.2	45.6	34.1

普段どれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータ、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）

小学校第 6 学年

	国語A	国語B	算数A	算数B
4時間以上	65.3	46.1	70.3	48.6
3時間以上	65.7	48.8	73.9	53.0
2時間以上	69.6	52.6	76.4	56.0
1時間以上	73.8	57.4	79.2	60.6
1時間以下	78.0	62.6	82.6	65.6
しない	82.3	67.1	86.6	70.0

中学校第 3 学年

	国語A	国語B	数学A	数学B
4時間以上	73.0	42.6	58.3	51.6
3時間以上	75.3	45.8	63.0	57.3
2時間以上	76.8	47.3	65.6	59.1
1時間以上	81.0	53.8	70.5	65.1
1時間以下	83.1	55.3	71.3	66.1
しない	83.7	58.2	72.4	66.6

学力向上のための方向性

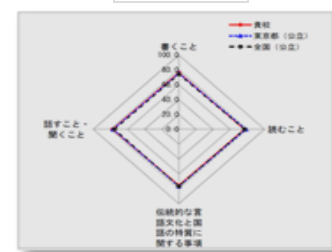
生活のリズム：「早寝・起き・朝ごはん」「学習習慣」「運動習慣」
努力の継続：家庭学習や部活動等で自分を磨く努力の力の育成
豊かな心：人や自然を愛し、思いやりをもって行動する力
自主・自律：自らを律し、様々なことに積極的に関わる力

結果から見える課題

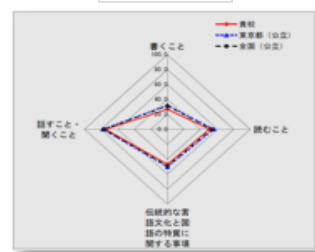
- 国語の「言語の理解等」「書くこと」、数学の「知識・技能」、理科の「自然事象」「実験・観察の技能」が課題である。
- 「規則を守る」「いじめはどんなことがあってもいけないと思う」と回答した生徒の割合が都や全国と比較して高い。
- 学校以外での学習量が都や全国と比較して少ない。
- 自己肯定感に関する二極化傾向がみられる。

学力調査結果(第3学年)

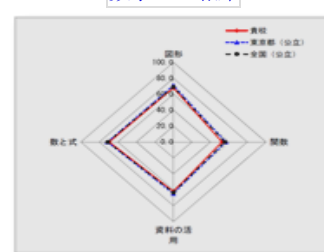
国語Aの結果



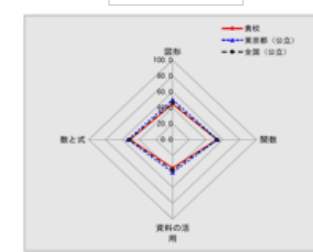
国語Bの結果



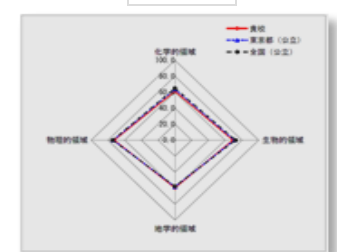
数学Aの結果



数学Bの結果



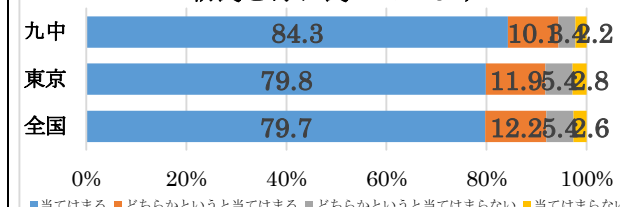
理科の結果



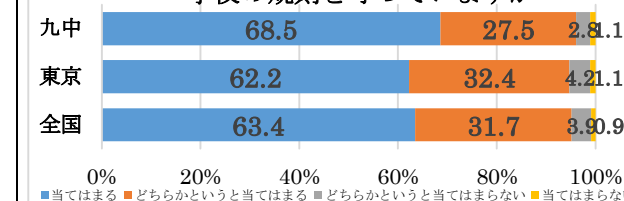
- 国語について、基本「A」は全国平均と活用「B」の「書くこと」「言語についての知識・理解・技能」が下回っている。
- 数学について、基本「A」・活用「B」とともに全国平均をやや下回り、特に「数学に関する知識・技能」が課題である。
- 理科は、全国平均をやや下回る。特に「自然事象」「実験・観察」が課題である。

学習状況調査結果(第3学年)

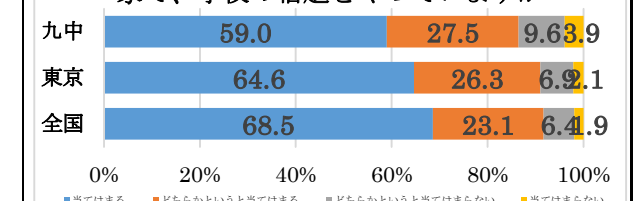
朝食を毎日食べていますか



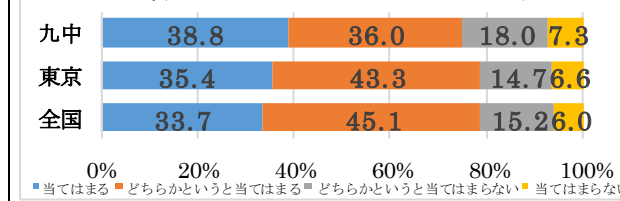
学校の規則を守っていますか



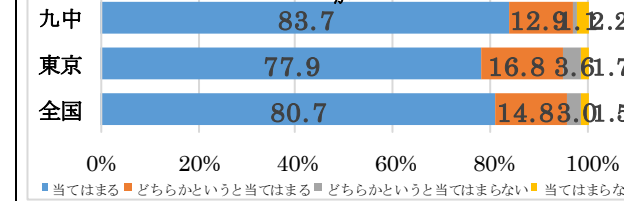
家で、学校の宿題をやっていますか



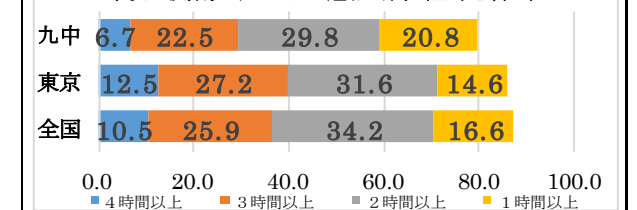
自分にはよいところがあると思いますか



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



学校の授業以外の1日の勉強時間（塾等を含む）



- 朝食、学校の規則及びいじめに関する考え方などから、規範意識は高い水準である。
- 自己肯定感に関する問いに、「ある」と回答して生徒が多い反面、そうでない生徒も多く、二極化傾向が見える。
- 宿題や授業以外の勉強時間に関する調査結果から、全体的に実施が少ない傾向にある。